令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

<u> </u>									
事務事業名	027 文書等の収受・集配事業								
予算科目	01-020101-12 通信運搬に要する経費	担当部課総務部すぐ対応室							
市長公約		係名							
		新規・継続 継続							
戦略プラン		事業分類 自治事務(任意)							
		事業体制 職員のみ							
個別計画	特になし	事業期間 毎年度							
		08働きがいも経済成長も							
	つくば市行政文書管理規程	11住み続けられるまちづくりを							
根拠法令等		SDGs 12つくる責任つかう責任							

事業の概要

1.71	
対象	市民、職員
目的	市へ届いた郵便物等の適正な収受及び各課への迅速かつ確実な配布を目的とする。 各課から発送される郵便物の請求を一括処理することにより、郵便料金の把握及び経費削減を図る。
概要 (取組内容)	市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に収受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。 本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。 予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。

コストの推移

	2 × 1 × 3 Im [5							
項目				令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
予算額		(千円)	14, 837	13, 721	14, 957	17, 657	17, 657	
事	事 決算額		(千円)	16, 739	13, 071	16, 647	0	0
業	内訳	一般財源	(千円)	16, 739	13, 071	12, 082	0	0
費		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	4, 565	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	6, 938	6, 949	10, 334	10, 334	10, 334
人		正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1. 50	1. 50	1.50
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	56. 00	47. 00	48. 50	48. 50	48. 50
具	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

1120 NH 12 100 HT 170 HT					
共有、理解	特になし				
企画・立案、計画	特になし				
実行	特になし				
評価、検証	特になし				

指標の推移

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _{2}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		年々増加している発送郵便物に対応するため、郵便料金計器を導入した。また、総務費計上分の料金後納 郵便料について、上限額を超えそうな部署に対し、自課予算での計上を促した。					
	成果	郵便により市に到着した文書の仕分け、特殊郵便物の収受及び配布が適正に行うことができた。また、郵便料金計器を導入したことにより、当日発送できる郵便物が増えた。					
課	業務	個人情報関係の文書の郵便物発送が増えてきている。そのため特殊扱いの郵便物の対応が今後課題になる					
題	組織、予算等	昨年度同様、総務費予算計上分の料金後納郵便料について、当初の予算額では上限額であるが、実績において上限額を超えてしまう部署があった。予算額が上限を超え自課で予算化した事業について、翌年度の予定額が上限額未満の場合は引き続き自課予算で対応する等の周知が必要となる。					
改善目標		発送郵便物について、より多くの郵便物を当日発送する。					

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

77 IPI III	
方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

1.水。至于111水								
事務事業名	037 スズメバチ駆除業務委託事業							
予算科目	01-020101-17 すぐ対応室に要する経費	担当部課総務部すぐ対応室						
市長公約		係名						
		新規・継続 継続						
戦略プラン		事業分類 自治事務 (任意)						
		事業体制全て委託						
個別計画	スズメバチ営巣駆除	事業期間 毎年度						
		08働きがいも経済成長も						
	特になし	11住み続けられるまちづくりを						
根拠法令等		SDGs 12つくる責任つかう責任						

事業の概要

対象	市民
目的	ハチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全(アナフィラキシーショックの防止、抑止等)を確保 し、生活環境の向上に寄与する。
概要 (取組内容)	市民からのハチの営巣の駆除依頼に対し、ハチ駆除業者に委託し駆除を行う。

コストの推移

	· 2 · 1 •21E/l9							
項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
予算額		(千円)	6, 305	6, 267	10, 017	9, 907	9, 907	
事	事 決算額		(千円)	7, 456	5, 312	6, 563	0	0
業		一般財源	(千円)	7, 456	5, 312	6, 563	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	FJ/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	6,800	6, 834	10, 215	10, 215	10, 215
人		正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1. 50	1. 50	1. 50
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページの情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

7	11 W - 1ED						
1	指標名	スズメバチの巣の駆除委託 (件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0. (0.0
	実 績	499. 0	835.0	550. 0	881.0	0. (0.0
	指標の 概要	R02年度はすべてのハチの営巣駆除件数、R03年度はスズメバチと通学路等の特に危険性の高い場所のアシナガバチの営巣駆除数、R04年度はスズメバチとアシナガバチの営巣駆除数。					

	指標名				((
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		スズメバチ及び市民から要望の多かったアシナガバチの営巣駆除を行った結果、予算内での営巣駆除事業を行うことができた。ハチ営巣駆除繁忙期の職員不足及び、業務移管については引続き課題となる。
	成果	スズメバチ及び市民から要望の多かったアシナガバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全を確保し、生活環境の向上に寄与した。
課	業務	6月から10月にかけての繁忙期は、駆除依頼の電話や来庁者対応等ハチ駆除業務量が多くなるため、郵便 業務等すぐ対応室のほかの業務に支障をきたす。
題	組織、予算等	すぐ対応室は郵便業務も行っているため個室になっている。ハチ駆除の繁忙期には、相談や防護服の借用 のための来庁者の対応は、受付付近に出向いて行うしかないため、昨年度に引き続き他部署への移管の検 討が必要となる。
		昨年度に引き続き、委託業者がスズメバチ及びアシナガバチの営巣駆除を行うが、駆除を行う上でトラブ ルが無いよう業務を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

77 IPI III	
方向性	継続
理由	